

ほがらか

ほなみだより

第93号

令和2年8月17日

[発行元] 酒田市本楯字前田 127-2
[発行者] 医療法人 宏友会
グループホームほなみ
[問合せ] (0234) 91-7123

コロナ禍

グループホームの生活は…



窓越しでの面会



ご利用者の思い

息子に会えず、寂しく不安ですが、ほなみの皆と一緒にいる事で楽しく生活することが出来る。生活し元気で会いたい。

まだまだ続きそうなコロナウイルス感染対応
3月より6月の下旬までご家族をはじめ、面会の自粛のお願いをしてきました。また利用者の楽しみのも一つでもある、地域の方々との交流や外出を中止し、生活は様変わりしています。会いたい人に会えない、以前できた事ができない事に対して利用者・ご家族・職員はどのような思いでこの期間を過ごしたか聞いてみました。



PCを使って面会

ご家族様の思い

面会自粛になり、家族としてとても不安な毎日を過ごしました。母親の体調やメンタル面での変化も気になりました。でもほなみさんから本人の手紙や普段の生活の写真や動画を送って頂き、何回涙したかわかりません。いつも家族の気持ちに寄り添い、また利用者さん達を守って頂きありがとうございます。

職員の思い

利用者にとっては今まで当たり前だった外出、毎月のボランティアの方々による歌の会等の中止、大切なご家族とも会えない事から楽しみが減り、かなりストレスを感じたと思います。ご利用者と向き合う時間が多くなった分、今までの普段の生活がかけがえのない時間だったと実感しました。



普段の生活の様子



ご利用者の 思いと対応

認知症の方と関わる際は、ご本人の意思を尊重した関わりが大切です。

かず子さん（仮名）は時々ほかの人が話しかけると、「うるせぐで、何言ってるんだがわからねー」と言うことがあります。決して大声で話をしているわけでも、かず子さんの耳が遠いわけでもないのに。

認知症の方は、脳の中で一度に処理できる能力が低下してきます。私たちが普段テレビを見ながら話をしたり、BGMや人々の声

で賑やかなスーパーで買い物をしたりすることも認知症の方には難しくなってきます。例えると、色々な種類の音楽を一度に聞かされてどの曲が一番好き？と聞かれているような感じなんだそうです。

そんな時はご自分の部屋や静かなところでゆっくりとお話することでいつものように理解することが出来るようになります。

頭の中の混乱を少なくするためにも、普段から静かな環境づくりを心掛けたいものです。

（奥泉 久美子）

梅酒作り★

美味しくなあれ！

紫陽花の押し花作り♪

ほなみの畑の
玉葱を収穫しました。

ほなみ写真館



編集後記
 昨年の6月から4年ぶりにほなみに戻ったのだが、変わった事がある。以前は利用者から「あんちゃん」一択で呼ばれていたが、今では「とうちゃん」と。認知症というものは正直なものである。見た目に合わせて落ち着いて関わろうと思った1年でした。
 （岸 高之）

新型コロナウイルス感染症対策として原則、面会はご遠慮いただいております。ご用事の際は、玄関扉にある呼び鈴を鳴らして下さい。職員が対応いたします。なお、ほなみの8月の行事も中止いたします。一時的な対応にご協力をお願い致します。

お知らせ
 ★8月の行事について
 ★面会者様・ご用事のある方へ

ある日のほなみ
 しそ巻き作りを行いました。作り方の説明をすると、Aさんは「こうやっていなんがの？」と隣の人やスタッフに聞きながら、何度も繰り返し作ってくれました。意欲を持って作業に一生懸命に取り組んでくれる姿勢を見て「作ってみたい。」というAさんの思いが伝わってきました。油で揚げると色鮮やかにきれいに仕上がり、試食すると「売り物みでだの。」「ご飯えっぺ食べられるの。」「とAさんも笑顔で大満足の出来栄で、その夜の夕食で美味しく頂きました。
 （高橋 典子）